

家族療法

[講義] 第2学年～第3学年 前期 選択 2単位

《担当者名》奥田 かおり (看護福祉学部 k-okuda@hoku-iryo-u.ac.jp)

【概要】

家族支援に使える家族療法について学ぶ。家族療法の歴史的発展と主要な認識論について探究しこの分野で採用されている様々な方法論(ナラティブセラピー、カップルカウンセリング、オープンダイアログ、当事者研究)の入門的な比較と検討をする。家族療法の現在の傾向や問題点などについても事例を使いながら学ぶ。

【学修目標】

- ・ 家族療法の基本的な認識論(システム理論)を学び、家族支援に応用できる。
- ・ 夫婦・家族が直面する発達の変遷と日常生活における病状・危機について学ぶ。
- ・ 夫婦や家族カウンセリングに共通する問題(①:不倫、虐待、離婚、家庭内暴力)とその治療法を学ぶ。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

ソーシャルワーカー

【実務経験を活かした教育内容】

社会福祉施設(母子生活支援施設)、精神保健福祉領域(医療機関)などでの実務経験を活かしアクティブラーニングスタイルで実践的な教育を行う。